

1. 件名：関西電力株式会社大飯発電所第3号機・高浜発電所第4号機の安全性向上評価届出について

2. 日時：令和5年8月23日（水） 9時30分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制庁内会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

安全性向上評価チーム

塚部安全規制調整官、寺野管理官補佐、福原管理官補佐、日高安全審査専門職、
儘田主任技術研究調査官※、西村副主任技術研究調査官、川口技術研究調査官

実用炉審査部門

宮嶋安全審査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力安全部門 安全・防災グループ チーフマネジャー他1
2名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果を不開示情報を除きそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料1：高浜4号機安全性向上評価（第4回）届出書の概要
- ・資料2：高浜4号機第4回安全性向上評価届出書の前回との差異について
- ・資料3：大飯3号機安全性向上評価（第3回）届出書の概要
- ・資料4：大飯3号機第3回安全性向上評価届出書の前回との差異について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	原子力規制庁の宮島です。ただいまより、関西電力大飯発電所及び
0:00:08	安全性向上評価に係るヒアリングを開始いたします。それでは資料に基づいて、関西電力の方から説明のほどよろしく申し上げます。
0:00:17	はい。関西電力の永嶋です。今回はですね高浜 4 号機と大飯 3 号機の
0:00:26	二つのユニットを届け出ておりますけれども、前回 4 月 24 日の面談で、三つのユニットの届け出について説明し、
0:00:38	そのうちの高浜 3 号機と大飯 4 号機と、今回の面談の対象プラントか、ツイン、
0:00:47	プラント、ツインプラントなので、大きな違いは基本的にございませぬ。
0:00:53	す。
0:00:54	従いまして、説明は、二つのユニットのうち最初に届け出た、高浜 4 号機第 4 回ほど、
0:01:02	をベースに説明させていただきまして、
0:01:08	そのあとの大井 3 号機、7 月に届け出、
0:01:12	では、大きく異なる部分のみピックアップして説明させていた。
0:01:17	で、特重情報に係る説明は、
0:01:22	あと、
0:01:24	まず、高浜 4 号機と置いた動きについては、
0:01:28	前回の差分、届け出、前回の届け出との差分、
0:01:32	別の資料で整理しておりますので、まず概要をこちらで説明したいと思えます。
0:01:46	関西電力の松田です。それではまず、一つ目の資料といたしまして、高浜 4 号機、第 4 回安全性向上評価届種で所の前回との差異、
0:01:57	1 枚ものの資料でご説明させていただきます。
0:02:01	高浜の第 3 回につきましては、2 年前に届けておりますが、まず前回から変わった。
0:02:08	原野差異といたしまして 2 章で、
0:02:11	被規制者向けの情報者通知文書及び国内事業者の追加措置を新知見の収集対象として追加しております。また、
0:02:21	第 3 章におきましては、前回すでに特重場を含む PRASD を開始しております、今回は追加の評価であること。
0:02:32	また、中長期的な評価を実施しているということが主な前回との差異となっております。
0:02:40	きまして、大井、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	3号機についてご説明いたします。
0:02:45	資料といたしましては、大井3号機、第3回安全性向上評価届け出書の前回との差異についてという1枚ものの資料となります。
0:02:56	大井3号機の今回の強化内容につきましては、高浜と基本的にどう水準となっておりますが、大井の場合、今回から、
0:03:06	設計の経年、
0:03:08	仮評価ガイドライン、宛名発行がの改定によりまして、評価が確立されることから、内部事象について評価を実施しております。
0:03:18	また、特重情報を含むPRA。
0:03:22	ストレステスト、STは今回が最初の評価であること、中長期的な評価を実施しているということが負債となっております。
0:03:31	なお、前回の面談、4月24日、
0:03:34	ちょうだいいたしました大井4号機と高浜3号機での中長期的な評価のプロセスが不透明というコメントに対しましては、本届け出しをもちまして、改善のほうを図っております。
0:03:49	以上、資料の
0:03:51	社員の資料の説明は以上となります。
0:03:58	続きまして高浜発電所第4号機安全性向上評価概要資料について関西電力の岩田がご説明させていただきます。
0:04:07	まず右肩1ページをお願いします。
0:04:11	前回の面談、4月24日の時に、ご説明させていただきました高浜3号機、
0:04:17	との差異を赤字で示しております。
0:04:20	高浜4号機では、このページ中ほどに庄野保安活動から5件。
0:04:25	新知見から1件追加措置を抽出しました。
0:04:29	三つ目と四つ目のひし形ですけども、保安活動と新知見の両方から、ソフトウェアCCF対策という記載がある通り、これは共通ということで両方の調査から、同じ追加分岐が周知されております。
0:04:44	合計としましては2章からの追加措置は、5件ということになります。
0:04:49	それでは次をお願いします。
0:04:52	次は3章のPRAとストレステストですけども、高浜3号機、第4回の評価結果と、こちら、前回の面談でご説明させていただいた内容ですけども、こちら基本的に同じとなっております。
0:05:05	内容としましては、特重施設に加えて、RCP一次冷却材ポンプのシャットダウンシール。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:11	これは全交流電源がそうした際に、ポンプシールからのLOCAがLOC Aを防ぐ対策ですが、これを考慮した評価を実施しております。
0:05:20	また、ストレステストでは、特重施設を導入したことにより、定期的な評価を行うことで、地震クリフエッジの会長を行いました。
0:05:28	中長期的な評価では追加措置を1件中1件抽出していますので、前ページの2章の5件と合わせて、今回高浜4号機での追加措置は、
0:05:39	6件の追加措置替えられており、
0:05:42	それでは次をお願いします。
0:05:46	高間4号機のPRA評価にあたっては、高浜34号機がツインプラントであることを踏まえ、赤間笹号機との系統。
0:05:54	設備配置、設備が有する体力等の違いのみを、有無を確認することで、
0:06:00	3号機からの変更要否を検討しています。
0:06:04	その結果、変更を要する違いはなく、PRAPRAの結果は、高浜3号機と同じということになりました。
0:06:12	次をお願いします。ストレステストにおいても同様に、高浜3号機からの変更要否を確認し、変更する違いはアリマないということに評価しております。
0:06:24	それでは次をお願いします。
0:06:28	総合的な評定としましては、先ほど申しあげました追加措置6件。
0:06:33	評価対象期間中に実施された新たな取り組みとして、プラントで抽出された追加措置を4件。
0:06:40	保安活動を通じて実施された取り組みを5件抽出しております。
0:06:45	追加措置は、ページ、右肩の6、7に示したものになっております。
0:06:50	少し概要を説明させていただきますと、1件目は、高浜3号機と同様のCCF対策であり、
0:06:56	これはプラントの止める、冷やすを担う安全保護系回路を製造中止対策デジタルデジタル化したときに、
0:07:04	普通のチャンネルトレンのソフトウェアにバグがコピーされて、共通要因故障が発生するという懸念に対して、もともと最低限の規模でアナログ回路を残していたのですが、今回さらに、
0:07:16	安全注入の自動作動機能と、格納容器アプリの機能のアナログ回路を追加した。
0:07:23	これは保安活動の評価からも注視していますが、このCCF対策に関するATENAの技術ガイドが新知見調査で抽出されておりますので、先ほど申しあげた通り、両方の観点で抽出されているものになっており、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:38	2 点目は大井 4 号機、前回第 2 回届け出時の追加措置として充実したパフォーマンスレビュー会議の実施が発電所に導入されたのですが、その会議体において、
0:07:49	WANOやJANSIの第三者レビューで実施しているような場電力や業務、
0:07:54	他電力や業界のエクセレンスを積極的に活用した時クボ自己評価をやっているという取り組みになっております。
0:08:02	3 点目は、蒸気発生器取りかえ工事。
0:08:07	短期ある蒸気発生器について、伝熱管の応力腐食割れの感受性を低減する材料を使用するなど、
0:08:13	実績のある最新設計を適用した蒸気発生器へ取りかえを 2026、6 年度に予定しております。
0:08:22	4 点目としましては、美浜 3 号の第 1 回届け出時に追加措置として抽出しました、仮設中圧ポンプ使用可の条件の手順書類への反映になります。
0:08:33	5 点目としましては、大井 4 号の前回第 2 回届け出時に追加とちゅう中止しました労働災害防止に係る本質安全化対策の実施になります。
0:08:46	最後 6 点目としましては、従来から進めているものになっておりますが、届け出書 1.2 章、敷地特性の記載を、耐震化していくことを仕組みとして取り組む内容になっております。
0:08:58	以降の資料としましては、各追加措置の詳細の中身を参考として掲載しておりますが、今回の説明では割愛させていただければと思って、
0:09:08	次に飛んでまいりますけども、右肩 16 ページをお願いします。
0:09:14	前回までに注意した追加措置のうち 2 件は、実施時期の見直しを行い、計画的に実施していく予定になっております。
0:09:23	それでは、次をお願いします。17 ページ、
0:09:27	こちらブランドで重視された追加措置として高浜 4 号に 4 件、こちらに掲載しているものを反映して反映しております。
0:09:36	それでは、次をお願いします。
0:09:38	右方 18 ページになります。
0:09:40	今回の届け出の評価対象期間中に実施された主だった新たな取り組みとして、訓練に関する対応を 2 件記載しております。
0:09:48	ここに記載している 5 件は、高浜 3 号と同様な、同様のものになっております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:54	それでは、高浜 4 号の説明を終わりますので次は大井 3 号の目に移ります。よろしくお願いします。
0:10:01	はい。それでは関西電力堀内です。
0:10:04	藤大井 3 号機第 3 回安全性向上評価の概要資料。
0:10:10	でもちまして資料の方ご説明させていただきます。
0:10:14	右肩 1 ページをお願いします。
0:10:19	前回の面談、4 月 24 日になりますけれどもここで大井 4 号機、ご説明させていただきましたこの採用ですね、赤字の方で示しております。
0:10:29	大井 3 号機の 2 相からの追加措置につきましては、保安活動から 2 件、それから新知見から 2 件というふうになっております。高浜と同様のですね、CCF 対策につきましては、
0:10:41	保安活動と新知見の両方から抽出しているということになってございます。
0:10:47	保安活動の方からはエクセレンス活動、活用による自己評価、新新知見からは設計経年化評価からえられた県の技術資料等への反映ということで計 3 件というふうになってございます。
0:10:59	四つ目のひし形になりますけれども、新知見からの確認結果としまして、内部設計経年化評価ガイドライン、こちらの改定によりまして、
0:11:11	内部事象に係る設計経年化評価の具体的手法が確立されたということ踏まえまして、今回評価を実施してございます。
0:11:20	一番下小さい字で書かれている注釈 2 でございますけれども、評価期間中の安全研究や国内事業者の安全性向上措置オクの運転経験、
0:11:31	それは国際機関及び国内外の学会等の情報等々、広くサーベイしておりますので、例えば現在多くの会議体等で議論されているような設計方針に関するものにつきましても、
0:11:44	この新知見の調査或いは保安活動の評価からもピックアップされるというような仕組みになっております。
0:11:50	それでは次のページをお願いします。
0:11:53	次のページ、設計経年化評価の概要になります。
0:11:58	こちらにつきましては、宛名発行のガイドに基づきまして、内部事象の評価を実施しております。
0:12:05	新規制基準の適合、
0:12:08	審査申請済みプラント、オノ、
0:12:11	5 電力 16 プラントで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:12	こちらを対象にしまして、設計情報を比較してございまして、設計差異として 85 件、抽出してございます。
0:12:21	85 件につきまして、PRAの結果PRAのモデル化要素、安全解析等の観点からですね、安全上の重要度を、重要性を評価しております、
0:12:32	有意な影響或いは 5 件。
0:12:35	影響軽微が 65 件、影響なしが 15 件と。
0:12:39	いうふうになってございます。
0:12:41	次のページをお願いします。
0:12:45	次のページにつきましては有意な影響ありとなった 5 件、こちらの 1 件目ということで、再循環切替操作手段というふうになっておりますけれども、
0:12:55	こちら濃度を須藤設計の際はですね、非常用炉心冷却系統、それから原子炉補機冷却水系統、かつ、格納容器スプレイ系統の 3 系統から同じ内容が 3 件抽出されているというふうになってございます。
0:13:11	従いまして続いて 4 件目となりますけれども、RCPのシャットダウンシールの有無、こちらにつきましても、抽出されているというふうになってございます。
0:13:21	それから 5 件目につきましてはDG負荷試験時の外部電源喪失対策ということで非常用電源系統から抽出されているということでございます。こちら抽出された 5 件につきましては、大井は、3 号機につきましてはすでに対応済みということで、
0:13:35	ハード対策は不要というふうの評価をしてございます。
0:13:39	影響軽微の 60 億円、5 件の改善案につきましては、設計差異に係る知見をですね、教育資料等に反映を、を追加措置として抽出しているということになってございます。
0:13:51	それでは次をお願いします。
0:13:54	4 ページはPRAストレステストということで、こちらの特重施設を含む評価を実施しているとしてございます。
0:14:03	その結果としまして、4 号機とですね、大きな違いというものはありませんでしたけれども、ちょっと二つページを飛んでいただきまして 6 ページになるんですけれども、
0:14:14	6 ページに、
0:14:18	にですね、こちら参照していただきまして、津波クリフエッジになるんですけれども、こちら大井 4 号機はですね 11.4 メートル、それから大井 3 号機も 9.9 メートルという間違いがございました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:30	こちら右側の詳細の方にもちょっと記載させていただいておるんですけども、遡上解析を考慮しますとですね、放水ピットからの遡上の影響を受けない4号機の方がですね、3号機よりもクリフエッジ津波高さが高いという評価結果終えられたというふうになってござい
0:14:47	元に戻っていただきまして4ページに戻っていただきまして、
0:14:51	4ページのですね。
0:14:53	二つ目のアノシバタということになりますけれども、こちらは3章からの追加措置ということで、中長期的な評価からですね、
0:15:03	では追加措置を2件ということで、届け出書1.2章の最新化、それから設計経年化評価からということで、2件を抽出しております。先ほど、
0:15:14	申しました2、2章の3件と3章の2件で計5件ということになるんですけども、石油経年化評価につきましては2章と3章から吸収しているということになりますので、
0:15:24	大井3号機の追加措置は合計としまして4件というふうな追加措置がえられているということになってございませう。
0:15:32	5ページをお願い
0:15:36	5ページPRAの評価ということ。
0:15:40	その次のページの6ページのストレステストの評価になりますけれども、こちらの大井34号機のツインプラントでも実施しておりますけれども、主な違いとしましては先ほどご説明させていただいた松波吊り福利フィティングの違いがございましたという状況でござい。
0:15:59	それから7ページを、
0:16:04	7ページにつきましては総合的な評価としまして、追加措置を4件ということで、
0:16:11	評価対象期間中に実施された方の取り組みとして抽出してございませう。
0:16:17	次8ページをお願いませう。
0:16:20	8ページにつきましてはこの追加措置4件の内訳というふうになっており
0:16:25	こちらはですね123は先ほど高浜の方でもご説明させていただいたものですが、4番目にですね、本届け出初めて抽出された追加措置ということで、
0:16:37	設計経年化評価替えられた知見の技術資料、
0:16:41	教育資料等へのいねということで、こちらの設計経年化評価から抽出した知見をですね、技術資料への反映というふうになってございませう。
0:16:52	次、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:54	次以降はですね、追加措置の詳細の中身を参考として掲載しておりますので、説明をちょっと割愛させていただきまして、次右肩 14 ページまで飛んでください。
0:17:09	はい。14 ページは全科までに抽出した追加措置ということで、一層開放故障検知システムの設置ということで、こちらの、
0:17:19	評価期間前、評価期間、
0:17:22	が 2023 年 1 月 10 日ということで、その、
0:17:27	その時点ではですね、まだ設置可管理予定というふうになっておりましたけれども、現在設置完了という
0:17:33	になってございます。
0:17:35	次 15 ページお願いします。
0:17:38	15 ページは前回までに抽出した追加措置、3 件、こちらにつきまして
	は、措置実施済みというふうになってございます。
0:17:48	それから 16 ページ、次のページでございましてけれども、今回の届け出の評価対象期間中に実施された主だった新たな取り組みというようなことで、訓練に関する対応 2 件記載しているという状況でございまして。
0:18:01	大井 3 号機の説明については、
0:18:03	以上で終わらせていただきます。
0:18:09	それでは続きましてですね、1 枚ものになりますけれども、PRA ストレステストの実施計画の方をちょっと説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。
0:18:20	はい。1 枚ものの関西電力スズエです 1 枚ものでこれが PRA と安全裕度評価、これまで特重反映したプラントを
0:18:30	が複数ありますのでこれまでの実績と今後の計画について整理したものにになります。
0:18:37	現状想定してます工事の工程を踏まえた踏まえた PRA 及び安全裕度評価の至近 3 カ年の計画を示してあります。
0:18:46	以下に示すように評価結果が変わるような大規模な工事等を行った場合の評価や、PRA の結果から抽出された経過措置の効果の確認について計画的に実施していく予定です。
0:19:00	今回高浜 4、2023 年度については今回、高浜 4 号と大井サンゴ届けられましたので、これで高浜さん用大井 34 号については特重反映の評価がすべて完了したことになります。
0:19:17	2024 年については美浜 3 号について安全誘導評価の特重を反映したものを

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:29	随件事象等をまだ残ってますのでこれについて2回、第2回と第3回に分けて評価を実施する予定です。
0:19:38	2025年については高浜12号について特徴を反映したPRAと安全裕度評価を実施する予定です。随件事象等についてはダイニク、
0:19:49	第2回以降の届け出で予定しております。
0:19:54	はい。簡単にですけどこれが以上になります。
0:20:00	水
0:20:01	関西電力の長嶋です補足ですけど、今、関西電力のスズエから説明したPRAとストレステストこれ
0:20:11	昨日かな、
0:20:14	ちょっと直前でしたけれども、提出させていただきました今までこういった計画はあまり出してこなかったこと等、
0:20:23	出してこなかったんで、
0:20:28	一応こういう情報も共有させていただいた方が良くないかなと思ひまして、
0:20:38	それからもう一つ
0:20:42	改善に関するスライドについて、昨日リクエスト、東京支社通じていただいておりますので、これ後日、トップの
0:20:52	して、
0:20:55	前回4月の面談の時に、一通りすべての改善は継続とそれから完了ってことになっているという。
0:21:06	今回二つのユニットについても、完了という。
0:21:13	もう、
0:21:15	一応
0:21:16	記載した内容で出させていただくこ
0:21:20	これで、基本的にはクローズかなという気はしています。
0:21:24	でも、さらに必要であればこの後の質疑で仰っていただければと思います。一通りの資料の説明は以上でございますので、ご質問等お願いいたします。以上です。
0:21:40	規制庁、
0:21:42	規制庁側からの1、質問確認事項等、
0:21:55	衛藤。
0:21:58	規制庁福原ですけれども私の方から何点か、
0:22:01	中身について確認をさせていただきます。
0:22:05	まず、大井3号の、
0:22:09	6ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	大井 3 号の 6 ページの、
0:22:19	ご説明いただいた。
0:22:23	地震津波津波のところ、括弧書きのところなんですけども、
0:22:28	ちょっとついていけなかったんですけども、
0:22:30	放水炉アウトですね、表中ほどの一番右の列の詳細。
0:22:35	S5 水路ピットからの影響云々というところ。
0:22:39	放水路の位置関係と 3 号 4 号のちょっと位置関係っていうのをベースに、もう一度すみません、ご説明いただければ
0:22:49	関西電力のスズエです承知しました。こちら詳細な資料が後についてと。
0:22:55	でご説明。
0:22:57	させていただきます。
0:23:05	はい。資料の 60、
0:23:08	5 ページになります。はい 64 の次のページですすみませんページ番号を抜けて、
0:23:29	こちらの右下の方に図がありましてこれが追 34 号のクリフエッジ高さの 11.4 メートルで遡上解析をやった結果になっております。
0:23:41	11.4 メートルっていうのは海水ポンプ室前で津波高さが 10.4 になるように設定しておりまして、その時に左の方に 3 号機と 4 号機があってその隣に放水炉ピットがあるか。
0:23:56	ですが、この方水路ピットから津波が、
0:24:02	3 号機の建屋 1 に来ることで 3 号機については、津波が遡上して 11.4 の高さだと応答し得る高さを超える結果となりました。
0:24:13	それにその 3 号と 4 号の社員について左の茂木図で
0:24:19	エセ
0:24:20	させていただきます。
0:24:22	3 号については 10.4 メートルの場合建屋シールを超える結果となってこれが建屋シールで、ちょうど 10.4 メートルになる高さっていうのが、
0:24:33	9.9 メートルであってこちらが大井 3 号機のクリフエッジ高さになります。
0:24:40	一方大井 4 号機については 11.4 メートルで遡上解析をした結果、建屋シールを下回る結果となりましたのでクレンチ高さについては 11.4 メートル
0:24:51	のまま、
0:24:54	こちらが
0:24:58	はい。規制庁福原です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:03	65 ページの、
0:25:06	左側の図、大井ーサンゴと 45 の図がありますと、で、
0:25:14	この水色のところと黄色いところがあって水色のところが多分水がやってきた。
0:25:20	で、水がサンゴの方は上がってますよ、上がってるというのは、建屋の近く近傍で上がってて、
0:25:27	4 号の方は、建屋の近くになるとちょっと下がってる。
0:25:31	これは何によるものですかっていうのが 1 点と、あと大井サンゴの方の、赤いバツテンのところのひし形がありますよね青井シマ島野シバタこれ何を表してる。
0:25:47	表してますか。
0:25:51	すいません 1. 名の衛藤。
0:25:55	遡上の傾向が違う。理由としては 3 号機の隣に、
0:26:02	水路び
0:26:03	いう、
0:26:05	穴みたい
0:26:08	そこカラー
0:26:09	津波が、
0:26:11	碓井のように、
0:26:14	噴出するようなイメージになってまして。
0:26:17	そのすぐ放水、
0:26:25	一方 4 号機については、その放水ロッピー。
0:26:29	距離的に離れてますので、
0:26:31	紛失した水が届かないけど、
0:26:37	1 点目のすいませんひし形が一っとフクハラですけども、扇形ですねごめんなさい。
0:26:44	大井 3 号の方上の図のほうの丸。
0:26:47	バス、赤いバスがあって、それを中心に、扇形のシマシマの青井。
0:26:53	部分になる。
0:26:55	四分の 1 円の、
0:26:56	それ何を表してますか。
0:26:59	これは建屋第 2 へと水がはい。
0:27:04	に示したもので、
0:27:06	3 号機の場合はシールを超えた手足を超えるので建屋内に水が入って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:15	規制庁フクハラです。わかりましたありがとうございます。
0:27:19	あとすいませんもんなん。あと 12 点あるんですけれども、
0:27:28	高浜の方、
0:27:32	なんですけれども高浜の 6 ページ。
0:27:40	高浜の 6 ページのですね、
0:27:45	追加措置の 2 番目。
0:27:47	パフォーマンスレビュー会議の実施。
0:27:49	というところなんですけれども、
0:27:51	これは、他の電力さんのレビューであったりとかWANOのレビューであ ったりとかを、多分、
0:27:58	と同じようなことやってますよっていう説明だったかと思うんですけども、 その認識で正しかったですか。
0:28:10	関西電力の長嶋です。基本的にはその認識で構いません運用を
0:28:18	年度かな。から始めたばかりで、まだこのパフォーマンスレビュー会議 で、
0:28:24	行くところは、例えば
0:28:27	だけじゃなくて工夫
0:28:29	そういうところのエクセレンスを拾って、
0:28:32	その保安活動全般を広く海老アノ自己評価していくっていう枠組みにし たいと。
0:28:39	だからちょっとずつ始めて、
0:28:41	おっしゃる通り、アノと、
0:28:44	そういうものを見て、
0:28:51	オカツジ
0:28:55	規制庁フクハラですちょっと質問をさせていただいた趣旨、意図がです ね、第三者による評価なのかなと思ってたんですけども、
0:29:06	これちょっとまだ理解がおよんでないんですけど高浜の発電所の方が、 他の発電所に行ってレビューするってそういうことで、
0:29:14	すみませんこれ外部レビューじゃなくて、社内のレビューです。
0:29:19	規制庁福原ですということは今までもそういったレビューみたいなもの ってあったのかなと勝手に想像してるんですけども、今まではそういうもの はなく、
0:29:30	今回新たに、
0:29:33	1 人取り組みを始めた。
0:29:36	そういう認識でいいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:39	もちろんQMSの中で、
0:29:44	社内標準、社内ルール、ルールに、コンプライアンスとして守ってきちんとやっているかと。
0:29:53	そういった評価はきちんとやってきました
0:29:57	これアノかIVマンス工場パフォーマンスインプルーブメントの観点で、国際的にも、こういう取り組みっていうのは、要は、
0:30:09	ピアレビューみたいなことを、自分たちでやってみる。
0:30:13	そういった取り組みは、次第に広がりつつあるような、恐竜かなと思ってまして、弊社でもこういったことをやっ
0:30:27	よその電力でも、こういったことは、
0:30:34	規制庁深田ですわかりましたありがとうございます。最後に私の方から、とりあえずもう1点なんですけどもちょっとページがわからなくて、再循環の切り換えの話。
0:30:45	で、
0:30:47	大井だったかな、すでにもう対策済みですっていうようなスライドが、
0:30:51	あったと思うんですけども、要は、
0:30:54	ちょっと質問がですね、もう自動的に切り替わるから対策済みですっていう認識なんですけども、
0:31:02	それで正しかったでしょうか。
0:31:07	関西電力のスズエですご理解の通りで、大井3号機については建設時から自動的に切り替わる設計となっております対策。
0:31:16	済みと整理させていた。
0:31:21	あとすいません、規制庁福原です。承知しました後、
0:31:24	感度解析を、またその件でされてましたように、
0:31:30	ページ何ページでしたっけ。ごめんなさい。大井。
0:31:33	サンゴでした。
0:32:09	等、
0:32:15	関西連合スズエセット資料の35ページの、
0:32:20	Bなのかなと。
0:32:29	これーは最終管を切り換えを有してるプラント、自動のプラント等へと手動のプラントを、
0:32:39	江藤すでに実施済みの
0:32:41	構成評価。
0:32:44	比嘉。
0:32:46	下をも

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:48	自動方式のプラント指導方式のプラントをどちらにおいても、
0:32:53	最高使用圧力に対して十分な余裕があるということを確認しているとい
0:33:00	をしたものになります。
0:33:04	D何か管理
0:33:13	規制庁区からです。
0:33:17	この1枚物、昨日、昨日だったかな、最近
0:33:22	行った1枚物
0:33:24	紙、
0:33:25	があって、
0:33:28	2025年の美浜3号、
0:33:32	※3、
0:33:33	手打ってるところで、
0:33:36	イシイ再循環装置の導入の効果の確認というところがあってそれはこの
0:33:43	話ですか。
0:33:43	いただいた35ページ
0:33:46	江藤赤瀬力。
0:33:48	SS衛藤ちよつと違う話になる
0:33:52	こちらの美浜3号機の感度解析
0:33:57	のは、美浜3号については、
0:34:00	再循環が、
0:34:03	まだ自動化されていない。
0:34:07	今、25年度以降、
0:34:09	2、
0:34:10	広岡される。
0:34:12	され、
0:34:16	通り、
0:34:17	ただ、
0:34:20	工事された後に、それが、
0:34:25	こちらは混合管、
0:34:30	やり返し
0:34:31	アノは、もしわかるのであれば、
0:34:33	この高浜大井美浜で、
0:34:37	再循環が、
0:34:39	首藤伴自動自動ってというのは、今わかりますかどれがどれだ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:45	はい。高浜 34 号同意 345 が自動
0:34:50	タカミチ事ミヤマサンゴが、衛藤首藤
0:34:56	はい。規制庁深田です。わかりましたございます。私からは以上です。
0:35:04	すいません。ツカベですけど、ちょっと。
0:35:06	か教えていただきたいのが、
0:35:08	高浜 4 号の方で、
0:35:11	31 ページ目に、最新知見、
0:35:19	グラフ
0:35:21	あれは、
0:35:23	期間に含まれていないので、
0:35:25	この件数には含まれていないと思ってるんですけどそれでよろしい。
0:35:35	関西電力
0:35:37	です。衛藤。
0:35:39	許可期間内、
0:35:40	です。
0:35:42	はい。
0:35:44	そう意味でちょっと評価期間外なの。
0:35:47	評価。
0:35:49	情報の収集対象外。
0:35:52	期間で、その評価期間、
0:35:54	最中に起こった事例を、
0:35:56	どう取り扱うということはあるかと思うんですが今回の届け出書の中では、
0:36:04	その点はその個別の評価の中では、
0:36:20	間接的にっていうのはちょっとイメージはわからないんですけども、
0:36:28	評価期間外のものをどう考えるかっていうところは、
0:36:33	例えば、
0:36:36	例えば
0:36:38	事象の家、重い、軽い。
0:36:41	或いは
0:36:44	それに対する弊社の評価っていうものが、所管で完了しているかどうかというそういう時間軸
0:36:54	両方考えて、必要なものは、検討所内発電所社内の検討チームやそう
0:37:05	で、
0:37:08	やって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:09	最終的に総合評価チームっていう場で、原子力安全、
0:37:17	の目で、
0:37:19	広く見てて、
0:37:23	受けてる
0:37:27	MICという。
0:37:30	も、総括的に見て
0:37:34	大人
0:37:36	になっ
0:37:38	て、
0:37:41	ではない。
0:37:49	例えば今回の設計経年化評価について、ATENAのガイドについては 6月 6 日に改定がなされて今
0:38:01	が大井 3 号機の届け出は、木全高浜、
0:38:06	今回大井 3 号機の評価対象期間よりも後に改定されて、今
0:38:13	ただし、この宛名が色については、どちらかっていうと、その改訂したタイミングで考えたら次回の届け出に、
0:38:24	この設計経年化評価を、
0:38:26	でも構わなかった。
0:38:28	なんですけれども、一応、
0:38:31	あてなあのその積経年化評価ガイドそのものは、事業者も参加して、取り組んだ
0:38:39	きてますし、中身も、
0:38:41	来てますので、今回評価対象期間外ではありますけれどもATENAのガイドが書い
0:38:48	あれだっていうこと新知見の中に、
0:38:54	そういったちょっと出入りは、
0:38:59	ちょっと柔軟にそこは考えさせてもらう。私自身もその柔軟であるべきだと思っていて、当然施設の状態は、定検終わった状態を対象にするというのは多分そこは、
0:39:11	そういう運用になると思うんですけどその最新知見と
0:39:15	ものを、
0:39:16	と。
0:39:19	カウントするかというのはまた別途あるのかもしれない
0:39:24	評価の中で反映でき
0:39:29	らしいのではないかなという。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:31	出ますね。
0:39:34	今回、
0:39:35	同じく高浜 4 号で、
0:39:38	ページ目何ページ目で、追加
0:39:42	で、
0:39:43	この中でその最後の 6 番目。
0:39:47	の届け出書の、一緒にその最新化だけが中長期的な、
0:39:53	評価PSR。
0:39:55	プラスかケースある。
0:39:56	から出てきていると思うんですが、
0:39:59	一方その
0:40:00	6 ページ目のSDR。
0:40:04	客席の取替工事。
0:40:06	みたいなその大規模な
0:40:09	ある種、
0:40:11	ヨーロッパの運用とかで言うと、
0:40:13	さらに合わせて、
0:40:15	そういうことをやりますというのが出てくるようなイメージもあってですね。
0:40:19	で、逆にその
0:40:22	機械関連さん行ったPSR。
0:40:26	#NAME?
0:40:28	の中でこういうハード対応っていうものは、
0:40:31	あまり抽出され、
0:40:33	いないのか。
0:40:35	ちょっと今回の、
0:40:36	PSRで行ったもの。
0:40:40	と、このSDRと、
0:40:49	SSG-25 版では、日本で実施しているPLM高経年化技術評価みたいなものも取り込んでいますけども、国、
0:41:01	内では、そこは切り離されている
0:41:05	Ss-D48 の世界については、高経年化評価
0:41:11	で、そちらの方で、基本的にハードみたいなものは対応されると。とも、
0:41:18	PSRプラ数指針を原子力学会で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:23	これ作ってまして、これ、ここの場ではですね、どちらかというと、その仕組み、例えばP、
0:41:32	RA一つとってもPRAっていうものが、セーフティーファクターの一つに入ってますけれども、これPRAそのものを実施するというよりは、
0:41:43	PRAか、
0:41:45	これまでの10年それからこれからの10年を考えたときに、その今のそのPRAをやるっていうその仕組みとして、きちんと整ったものになっているかっていうような見方をする例えばアノSafetyパ
0:42:02	それから、
0:42:04	虞センスの評価についても、その評価の仕組みとして、我々きちんと持っているか。
0:42:13	そういったような見方を
0:42:15	ここはちょっとですね、SSG25が求めているところと違う、内容がS、PS R、
0:42:25	そして、
0:42:26	ルアノ国内向けのやり方としてですね、それに基づいて、
0:42:32	中長期的な評価を実施してきているという違いはちょっとございます。
0:42:37	で、ハード対策が抽出されないのかということ、場合によってはされると思って今
0:42:45	ただし、そういう仕組みを見ているっていう性格から考えるのとあと、やっぱり48ツジ48のところに分かれているところがあること。
0:42:56	あとはもともと最新知見を、この
0:43:02	例えば安全性向上評価届け出っていう仕組みが全くなかったとしても、これまで最新知見というのは、学協会それから規制庁さん、
0:43:12	の情報に基づいて、しっかり
0:43:16	来てまして、するCそれからアノへと、
0:43:21	保安活動の中で、衛藤。
0:43:25	もちろん先生がいっぱい発生して、
0:43:27	そういった状況も踏まえると、必要だなと考えて必要
0:43:36	実はもう
0:43:37	何ですかね、こういう評価をやるまでもなくほとんどのハード、
0:43:44	やれているところが、
0:43:47	ベースとして、
0:43:48	ただ、こういった評価をやることによって、我々その深く胸に手を当てて深く考えたら、何か出てくるっていうものも、確かに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:01	そういうものは出てくるとそれが、
0:44:04	図であったり
0:44:05	やはり、
0:44:06	そういうそういうものかなっていうふうに思う。
0:44:10	はい。市長。
0:44:12	確かに
0:44:14	安全性向上評価制度におけるその中長期評価というのが、
0:44:19	イセG25。
0:44:22	で求めている。
0:44:24	PSRと全く同じものとは思っていませんし、同じものを、
0:44:30	日本の規制が求めていると思う、私自身も思っはなくてですね、当然そこは今、
0:44:36	本震燃安審の方で、
0:44:39	この部分をどうするかというのは、また議論もあるところだと。
0:44:44	せつかく、
0:44:46	評価している
0:44:47	そういうものが、
0:44:49	比較的ソフトというか、
0:44:53	が、
0:44:57	方法として、そそういうものなんだというふうに、
0:45:02	ある種、理解して、出ないで、
0:45:09	大井3号の方で、設計経年化のところ、
0:45:14	確認をさせていただきたいのが、
0:45:17	今回、
0:45:18	このやり方というのは基本的にはそのATENAさんが電力代でやっている。
0:45:25	参考でつけられているリストをベースに行ったもので、
0:45:31	観点3として特別に大井サンゴに対して改めて、
0:45:36	PRAを見直したとかですね、いうことを、ばれされたものではないという理解
0:45:45	関西電力のスズエです。
0:45:48	どう。そうです。
0:45:50	手法については共通のガイドラインに基づいてやってまして、今回、
0:46:01	個別プラント評価
0:46:03	も大井の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:06	それは何か感度解析等を実施したわけではありませんが、こういったこの下ハード対策やソフト対策について検討した
0:46:16	評価を行っております。
0:46:19	はい。
0:46:22	個別プラント評価って今言われたものが、
0:46:27	どういう内容かという、今、
0:46:31	その何件か上がっているものについて中身を精査して、当該プラントに対して、
0:46:38	反映の要否もしくは反映されてるかどうかというのを、
0:46:43	確認し、
0:46:45	する行為を個別
0:46:48	評価
0:46:51	ハーネスでのご認識の通りで 3 ページ目の青字でちょっと書いて
0:46:57	大井サンゴとしての評価になってまして、大井サンゴは比較的新しいプラント、
0:47:04	という
0:47:06	のプラントなので
0:47:08	的には改善案としては影響軽微なものに対して、
0:47:13	教育資料に反映するといったもの。
0:47:16	今後、と同じような評価を
0:47:20	美浜さんが高浜 12 号に対しても実施していくんですけどもそのときに有意な
0:47:27	影響ありとなっている
0:47:29	案件について、ハード対策の要否っていうのを検討する。
0:47:33	のでちょっと重みが変わってくるのかなと。
0:47:37	はい。
0:47:38	あと最後、
0:47:40	PRAの方。
0:47:42	あとでも議論あると思うんですけどちょっとわからないところだけ教えていただきたいんで、
0:47:46	高浜の方の、あと特重も入っているので、
0:47:50	あとは、
0:47:57	高浜 4 号の 34 ページ目で今回の、
0:48:00	イエス。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:01	PSRのレベルはレベルⅡの結果が出ていて、一番最後の参考の1のページに、
0:48:08	大高宮5の第1回の結果だと思うんですが、
0:48:13	で、
0:48:16	34ページ目の方で、その変更になったところ、
0:48:20	区分が変更になったところを見ていて、その
0:48:25	参考1の方と比べていてですね例えばその、
0:48:29	レベルⅡPSA、
0:48:31	PRAの
0:48:33	格納容器隔離失敗の内部事象の出力時、
0:48:37	のところを見ると、数字として、
0:48:40	0
0:48:41	結構上昇しているようにも、
0:48:45	志賀翠なところですけど、
0:48:47	たところがあるんですがこれは、
0:48:52	の評価が入る。
0:48:53	ことによって、
0:48:57	トレイン
0:48:58	伴って、必然って
0:49:01	上昇し得るものなのかそれとも、
0:49:05	別の要因があって、上昇しているのかと。
0:49:10	他のところの全般的な数字は変わっているので、
0:49:14	全般的な話なのかもしれませんが、
0:49:18	ここの、
0:49:19	箱根隔離失敗のところ、
0:49:22	について
0:49:25	話もあると思うので、訂正
0:49:36	関西電力のイクノですと、今ご質問いただきました、資料最後の参考1と34ページの差分でも特にカプラー隔離失敗が、数値が増えているように見えます。
0:49:48	いうところについては、一旦炉心損傷をした後にはですね、各容器の中に放射性物質が放出をされましてそれが、
0:49:59	格納容器隔離失敗にして、格納容器外に放出されるのかそれとも確認は成功するんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:08	格納容器内の冷却に失敗をして、パスが蓄積して過圧破損に至るのかという大きな二つの事業がございます。で、今回、特重
0:50:18	が追加されたことによって、
0:50:21	過圧破損と隔離失敗は、
0:50:25	炉心損傷した後それぞれどちらのシナリオするかってのは割合になってきますのでその割合の関係が、新しく追加された設備によって変わって、
0:50:34	見た目上は拡大隔離失敗のまま、
0:50:38	割合が増えるような結果になっていると。
0:50:41	あります。
0:50:46	はい、規制庁ツカベあ、わかりました。この二つは間関連し合っていて、その確率が、
0:50:53	クリアになるようなところがあって、
0:50:55	物としてはこうなる
0:50:58	私から以上。
0:51:08	すいません関西電力の長嶋ですちょっと1点、
0:51:13	説明の中ではあったんですけども、究極的な評価、これ前回の4月の面談の時に、九州電力さんは、
0:51:25	セーフティーファクターの中の評価項目ごとに評価表がついていて、それに対する評価っていうのをやってるよ。
0:51:36	関西電力は、
0:51:40	表現されてないのでちょっと評価がブラックボックスに見えるっていう、ご指摘をいただいてまして、その部分については今回、改善したものをお届けさせていただいて、
0:51:56	これについても何か
0:51:59	も、
0:52:00	千賀と、
0:52:04	ば仰っていただければなど。
0:52:07	的な評価については、
0:52:14	ツカベ、
0:52:17	大事なところだと思って、
0:52:19	考えていきたいなと思って、
0:52:25	PSRプラス標準に基づいて、アノヤ
0:52:32	届け出書としては、
0:52:35	あまり細かいことをいっぱい書いても

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:39	現
0:52:39	かなという気は。
0:52:41	は、
0:52:43	もしそこについてももう、コメント等あれば、
0:52:54	ちょっと、
0:52:55	大井 3 号の書きぶりがどう変わってるかというところに私確認していないので、
0:53:01	部分はある。
0:53:04	一般論として、今まで他の会社さんも出していただいているのを読む限り、そもそもその事業者さんとして、どういう体制でどれぐらいの労力をかけて、
0:53:15	V作業してるかというのが、ある種、
0:53:19	発から、
0:53:20	ボックスのところもあってです
0:53:22	で、
0:53:23	多分す、本来であればそこを本当にどうやってますかというのを、今度時間かけてお聞きしてもいいのかもしれないんですが、そこまでちょっと今時間を、それについて、
0:53:33	受けられていないということもあって、
0:53:36	衛藤少なくとも届け出書についてはもう少し中身がわかるような、
0:53:43	お願いしたという経緯だと。
0:53:46	で、
0:53:47	次で
0:53:49	今日もちょっと聞こうかと思ったんですけど、ユーザーさんとしてどういう体制で、どういう部署が関連して、
0:53:56	作業を実施して、どういう取りまとめされているのか、そのアウトプットについてどういうものがあって、その中の、
0:54:05	何を届け出書に記載してるんですかという多分そこを、多分お聞きすれば、
0:54:11	ある程度こちらの
0:54:16	疑問に思ってるところは答えてください。
0:54:19	できるんだと思って。
0:54:22	ただ、
0:54:25	一方、そのSC25 人に沿ったような形でやれと書いてあって、
0:54:30	それに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:32	だから、
0:54:33	ある種、欧米でアオキでも、
0:54:35	募集等でやられているPSRに、
0:54:38	相当するような形のものが、
0:54:41	実際国内で行われているか。
0:54:44	という観点で、
0:54:45	見た場合、
0:54:47	多分、PSRの報告書です。
0:54:49	もうすぐ、すごく本来タイプ
0:54:55	で、
0:54:55	国内では、
0:54:58	こういう、この程度です。
0:55:01	単純な分量としても、この程度ですねと。
0:55:04	いうことになると、それが本当に、
0:55:07	同じ内容を見れているのか。
0:55:09	先ほど、
0:55:12	ざる
0:55:16	微妙な仕組みになっているという
0:55:19	であると。
0:55:20	それが、
0:55:21	本当に、
0:55:23	そのやり方ででき、
0:55:25	という
0:55:25	多分、
0:55:26	国内でPSRと同意、
0:55:29	実施すべきかと。
0:55:31	そこはすごく、
0:55:32	大きなその規制としても大きな判断が必要。
0:55:38	ここは、
0:55:42	オクでしょというより高い
0:55:50	関西電力ナガシマです。
0:55:53	炉安審燃安審の
0:55:56	中で、
0:56:00	この届け出制度の改善っていうのが、議論
0:56:08	今、その中でも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:10	議論
0:56:14	えっとおっしゃった
0:56:16	例えば高浜 4 号機であれば右肩 49 ページみたいなところで、
0:56:23	評価の評価体制みたいなものを書いてあります。
0:56:30	責任は、当発電所ではなくて、原子力事業本部のそれぞれの
0:56:38	関連する所管が体制に入りまして、
0:56:43	事務局、我々がですね、
0:56:49	ある意味独立した目から彼らの評価
0:56:55	いたりしながら、評価機関です。
0:57:00	ある程度、
0:57:01	をしまして、
0:57:02	それぞれの製品、
0:57:07	あとはセーフティーファクター後段でですねそれぞれの組み合わせ、S G25 なんかににはマトリックスがついてますけれど
0:57:18	も、そういう見方を
0:57:21	してみ
0:57:26	たプロセスを、
0:57:32	例えばその右肩 50 ページの下に、SF案の例が書いて、
0:57:40	でも、レビュー項目はSF案でも、
0:57:44	ゴコウ、
0:57:46	それぐらいありますか、例えば一つ、
0:57:48	選んで、
0:57:56	我々のその社内標準ですとか、国、
0:58:02	もう
0:58:05	それを見てですね。
0:58:07	それぞれのレビュー項目ごとに、
0:58:13	1 個ずつ見て、
0:58:16	整理を
0:58:21	細々
0:58:22	で、我々で、
0:58:28	これは標準通り、
0:58:35	だからなかなかですね、やれてる。
0:58:39	きちんとやれてるっていう評価になっていってしまっているところはある
0:58:50	評価の体制ですとか、期間ですとか、これ毎定検、出してるような届け 出も抽出、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:58	安全性向上措置がもともと抽出されてますので、10年に1回のこの取り組みをやって、いっぱい出てくるかっていうと、
0:59:08	というような状況。
0:59:11	届け出制度そのものの、
0:59:15	枠組みを、
0:59:16	変えて、
0:59:18	変えていけば何かもっと、
0:59:22	今のその炉安審燃安審で起き
0:59:26	たは、
0:59:27	る話がもしなければですね多分、
0:59:30	このまま行くん。
0:59:32	な。
0:59:37	はい。
0:59:49	よろしいです。
0:59:55	今回PPRAの件についてなんですけど、それぞれ高浜4高浜網大井さんと前回から今回独自等入れていただく。
1:00:09	機器故障率だったりとかっていう例えばモデル化アップデートする、何かその諸条件で更新した点等、今回、
1:00:22	はい。
1:00:23	カセ関西電力のイクノです。
1:00:25	前回のPR、前回届け出用いましたPRAからの変更点としましては、今述べていただいたような、
1:00:34	土岐故障率については、NRCの方で算出をいただいている国内の心配信販機器故障率に対して、
1:00:43	はい。
1:00:45	それぞれのプラントの運転再開後の、それぞれのプラントでの故障事例であったり露出時間を踏まえた個別プラントのパラメーターというものを作成をしまして、
1:00:54	それを反映した評価を実施をしております。
1:00:58	大きな変更点としては、それぐらいではあるんですけどもそれ以外にも、
1:01:04	より評価を精緻化する観点で、
1:01:09	あと、新しくこれを考慮考慮すべきであるというふうに判断した部分については、細かいところで改善をしております、たとえばあげますと、
1:01:18	RCPシャットダウン。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:21	失礼、RCPからのシールLOCAシナリオとシールリークシナリオと二つあるんですけども、
1:01:26	前回の評価では、資料 6 であってもシールリークであっても、それぞれのシナリオの後の、
1:01:33	後に要求される機能として呉地 2 台必要ですと。
1:01:36	空冷式の非常用発電機 2 台必要ですという成功基準で解析をしていたんですけども、その下、その後の解析でシールリークシナリオであれば、空冷DG1 台も十分、その後の対応可能であると。
1:01:48	いうところ確認をしましたのでそういった成功基準の、必要となる機器の台数を変更したいなど。
1:01:56	そういった細かい修正は所掌しております。
1:02:02	すいませんありがとうございました。
1:02:17	規制庁が
1:02:29	はい、儘田さん。
1:02:30	よろしくお願いします。
1:02:34	すいません。ちょっと聞きたいんですが 1 点なんですが、
1:02:40	1.2 の今回と一緒にですね敷地特性のところを、今回と更新されてるといことで確かにこれまでと関電さんの報告だとこの
1:02:51	1.2 以上のところはテンロクからのそれを参照して作ってるということだったので、確かに設置許可申請書の方が、改定されないところは大きな、
1:03:02	テーパブロック方が、
1:03:05	確かにその通りだなと思ったんですが、プラントに関しての 1 章に関してはそのas-isということで随時、
1:03:14	最初の方に書き換えられたと思うんですが、この色素特性のところっていうのは、ちょっと考えてみると、確かに自然現象のことが結構書かれていてその中で例えばハザード評価の、
1:03:27	PRAに使うですねとハザード回ハザード評価とか、それから或いは安全裕度評価に使う、その根拠となるものともなっているので、そういう意味では、
1:03:38	そのプラント上重要じゃないってやっぱりas-isに関してここも結構更新しとかないといけないのかなということがちょっと思ったんですが、これ、ちなみに、今回は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:48	これで更新されるってことなんですけど、この更新されるタイミングってのはですね、今後これまではテンロクからの参照ということだったので、更新されてなかったんですが今後は、
1:04:00	やっぱり新しい状況にみあって、ここは随時書き換えるというそういうタイミングでやって、今後行われていくという解釈でしょうかそれでもう。
1:04:11	例えば定期的にその5年に1回とか何かそういう感じで買えるような計画になってるのか、その辺についてちょっと教えていただけたらと思います。
1:04:23	はい。関西電力の長嶋です。
1:04:29	今まさにですね、その具体的な日
1:04:35	やり方について、
1:04:38	検討して、細かいやり方について検討してますけれども、
1:04:48	これはですねSSG-61番という、IAEAの安全ガイドがありますが、
1:04:58	敷地特性に相当するサイトキャラクタリスティック
1:05:04	についても、
1:05:05	目安としては10年に1回はアップデートされるべきだと更新されるべきだと。
1:05:12	というような、推奨がございますし、
1:05:16	10年を、
1:05:19	10年以上、
1:05:22	古井。
1:05:23	記載が、記載がされていたとしても、そのまま良いかどうかというのが、
1:05:32	10年に1回はきちんと確認されているっていう姿を、弊社の場合は目指したいと考えている状況です。
1:05:41	今ちょっとお答えできるのはその程度でございます。以上です。
1:05:51	はい。わかりました。実際、これももちろんそうですけど、
1:05:58	設備の方にやっぱり影響があるものがあれば、随時そこに対してだけは、書き換えみたいなことは、行われる。例えば、気象状況でみたいなところの事象があったのでそういうことについてやっぱり抱えないといけないということがあればそういうタイミングも当然、
1:06:14	されるってそういう認識、その程度でそれ以外は、定期的に全般について10年に1回は見直すみたいな、そういうようなことを今考えてらっしゃるとい、そういうような時でしょうか。
1:06:29	関西電力ナガシマです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:31	もともとですね例えば保安規定、保安規定の添付 2 とか 3 とか、デザインベースとSA両方について、
1:06:44	定期的な評価ということで例えば航空機のトンネル経路っていうのを毎年見るとか、植生をきちんと確認して森林火災の
1:06:58	影響が変わってないかとか、もちろん気象条件とか、そういうところを江藤毎年きちんと確認するっていうようなことはやっていますし、それ以外にも、
1:07:10	バックフィットもそうですけど、最新知見みたいなものが、はい。できれば、ハザードの
1:07:20	ます。
1:07:21	検討のベースについては、きちんと更新はされてきていると。
1:07:27	正しい書物の話ですよ。
1:07:31	おっしゃる通りテンロクはその本文が変わる。
1:07:34	あんこん
1:07:35	が変わったところに関連しなければ変わらないので、ただそれでいいのかっていうところもありましたのでこのような、
1:07:44	そういった対応をアノや、当社としてはやってみようというふうに考えているんですけども、
1:07:52	ベースとしてはきちんとできていると。
1:07:55	できているので、必要な評価は、届け出であれば、3章の 3.1、
1:08:03	のところで、決定論、それからハザード評価っていうところでは、必要な評価はこれまでもやってきている状況になっ
1:08:11	やってるんだけれども定期的に 10 年に 1 回、何にもなくとも最新知見とかもなくともこのままでいいのかっていうのを確認しようと。
1:08:24	そうすると、
1:08:28	例えばですけども、企業鉄塔の 1 か、もうドプラスオーダーの所気象観測器になってるんですけど、
1:08:38	鉄塔がまだ書いてあったりと、
1:08:41	黒が直ってくる
1:08:43	かなっていうふうなイメージを持っている
1:08:52	なんか答えになっておりますでしょうか。
1:08:59	はい。状況についてはわかりました。確かに言うところの例とかで書いてあるのは、埋め立て予定面積とか気象観測は、
1:09:10	本てとか、青線なことであればいいと思うんですが、これを実際その意思を直接何かいろんなところに、新しいことにしてそのす。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:20	ここを見て、新しいことにしてその数を見て全体新しいどういうところに反映されてるのかっていうのがわかるようなホンダな形で、
1:09:32	実際に実用的には使っていこうという意味で一緒という位置付けであるとそういう最新のものがですね反映されてるのが一番いいのかなという、その考え方ありましたけど、今、神戸さん、衛藤御説明なったの。
1:09:43	ここでの思想ということに関しては、理解しましたので、はい。ありがとうございました。はい。私の方から以上です。
1:10:03	はい。
1:10:04	他に規制庁がわかるか。
1:10:07	はい。
1:10:12	すいません。規制庁の西村ですけども、幾つかちょっと、
1:10:17	事実確認ぐらいなんですけど、
1:10:20	まず一つ目ですね今日、
1:10:23	内野江上で、
1:10:25	何、右肩 0 ページになっているのですね。
1:10:28	PR安全誘導評価の実施計画についてということではいただいています。で、
1:10:34	高浜三、四遠い三洋については今回、2023 年、
1:10:45	反映済みで 2024 年以降特に何か変わるという計画は今のところない。
1:10:51	で、
1:10:52	それはそれでということなんですけど、
1:10:56	まずその第 3 章関係の評価ツールは、
1:11:01	関連としてはもう概ねそろったっていうご理解ですか。
1:11:16	あ、関西、
1:11:18	入ってますか。
1:11:19	浅井電力クニマサです。今のご質問は高浜 34 号、
1:11:25	大飯 34 号コガ、2023 年度で、特重を反映してPRオダ出しましたよと。
1:11:32	これで概ねそろったのかと言いますと、その他、
1:11:37	今後ですね何か大きい設備改造とか
1:11:41	そういうのがあった場合でPRA結果に大きく影響していくと。
1:11:44	いったことがあればですねそれ反映していくと。
1:11:46	いうふうに考えてますけれども、そういうものは特になんかということあれば、
1:11:55	規制庁ニシムわかりましたって一応ですねPRAの成熟度に応じてたあの日、起因事象なり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:06	或いはその事象の範囲です。
1:12:11	きょうの資料の例えば大井 3 号の、
1:12:16	74 ページ。
1:12:18	ですね。
1:12:19	火災及び溢水等に関するPRAの実施云々って書いてあって、
1:12:25	まだ研究段階なんできていう感じなんで、その研究段階っていう言葉をつけて、今はやることができないから、できる範囲で見ればそう思いましたっていう。
1:12:37	ことだと私は理解をし、しました。それでいいですか。
1:12:43	関西でるクニマサですおっしゃる通りです今できるスコープとして
1:12:51	規制庁に示すわかりました。そうすると次の質問なんですけど、その研究段階としている者たちの今後のその研究計画というかいつも
1:13:03	時期になったら、
1:13:05	高評価に実装していけるのかっていう見通しは今持ってますか。
1:13:12	ですね今の段階で
1:13:16	何、何年度、或いは第何回に出しますというようなところまではちょっと至っていないというのが正直な
1:13:22	流れとしまして研究をしましてそれで評価の手法を作っていきますと、その次の段階とそれが実際に個別のプラントの評価としてできているかと。
1:13:34	ところの
1:13:37	いうところを踏まえて
1:13:40	いうこと。
1:13:50	規制庁ニシムラさん、ちょっとこれ聞くのは適切ではないのかもしれないんですけど、
1:13:55	高浜 345234 が将来的に
1:14:00	必ずやってくるのが廃炉のタイミングですよ。
1:14:03	で、それまでにそういった今研究段階にあるPRAの評価手法であったり、或いは他の
1:14:12	今、
1:14:13	求められていない評価の手法が出てくるのかもしれませんが、
1:14:17	そういったものがこう整備されていくっていうのはどっちが先行するとか、何かありますか。
1:14:26	これちょっと正直非常に難しいご質問かなと思いますけれどもただ、やっぱり事業者、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:33	しっかり
1:14:41	それは日々進んで行っている。
1:14:46	江藤各社で
1:14:48	稼げるこれ押すよっていうよりも電力と、
1:14:53	共通の
1:14:54	課題があって、
1:14:56	どうも皆、
1:14:59	対応のタイミングというのが、
1:15:01	ちょっと、
1:15:02	なぜかと言ったと
1:15:05	これを次、
1:15:07	ところをちょっとこう、
1:15:10	気持ちは
1:15:22	規制庁西村ですが非常に答えづらいところ、答えていただいてありがとうございました。
1:15:27	一応期待をしていますのでよろしく願いいたします。最後、一つ、
1:15:33	確認をして終わりたいんですが、
1:15:36	うん。やっぱ 72 ページ以降の中長期的な評価ですね。評価対象期間が 2018 年 6 月から今年の 1 月まで、概ね、
1:15:47	4 年半程度でしょうか。
1:15:51	で、その 74 ページに評価の結果ということで書かれているのが要は抽出された追加措置こういうものでしたってということな、
1:16:01	です。
1:16:02	で、その中身がどうこうっていう気は今、今のところはないです。お伺いしたいのは、
1:16:09	評価期間の 4 年半でどれだけのことが改善ないし安全性は向上していてどれだけのものが劣化していったかっていうことは、評価されましたかっていうこと。
1:16:27	関西電力の
1:16:29	評価機関
1:16:30	で、それぞれのその評価、今回は、
1:16:35	もう少しちょっと前回コメントいただいたこともありまして、
1:16:43	区ごとに、セフティーファクターの中のさらに評価項目ごとに、どんな評価をしたかっていうのも届け出では表現させていた
1:16:53	中にもちょっとありますけれども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:57	こういったことが、4年間の、4年アノ評価機関の保安活動の中で、良いこと。
1:17:07	いやそりゃあ、
1:17:08	それから、改善の余地のある、
1:17:12	パフォーマンスだ。
1:17:14	そういったことを評価して、それぞれ、今後の10年に向けてやっていけるかっていう観点で評価をしていってます。だから答えとしてはイエスだと思ってます。
1:17:28	はいと規制庁ニシムわかりました等ございます以上です。
1:17:36	はい。規制庁、
1:17:37	です。一応一通り、今までのところに関しては規制庁側から、ごめん。
1:17:42	どうや確認事項と出たかと思いますが、何か追加ありますか。
1:17:49	はい。
1:17:54	すみません規制庁福原です本当申し訳ないんですけど、もう1回ちょっと説明をしていただきたいところがあって、高浜の方の34ページ。
1:18:07	です。
1:18:10	ツカベの方から質問をさせていただいたところで、ちょっと私ついていけなくてですね、ごめんなさい。申し訳ないんですけども、
1:18:20	この表が独自を入れて、この表と、さっき教えていただいた一番最後の参考っていうところですね、参考1、
1:18:31	ページで言うと60ページ目に該当すると思うんですけども、
1:18:35	参考1っていうのと、この34ページの表を対比させたときに、例えば、格納容器隔離失敗という確率が上がってますよと。
1:18:46	特重施設を入れたん、入れて、
1:18:49	確率が上がってますよってこれなんですかっていうそういう質問だったかと思うんですけども。
1:18:54	そこまでは、
1:18:55	大丈夫。
1:18:56	ただしですよ。で、それで、そのご回答もう一度、お願いしたいっていうのとあと他のところも、
1:19:04	例えば、レベル1の方の交流電源全交流電源喪失もですね、
1:19:11	上がってるんですかね、白から緑になってるんで、それについてもちょっと何でこういうことが起こってるのかっていう、すみません何度も恐縮ですけどもご説明お願いします。
1:19:30	関西電力の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:34	すいません関西電力のイクノです。
1:19:36	まず、ご説明いただいた前半の部分で、格納容器隔離失敗の頻度と割合が上がっている点については、衛藤、先ほどの説明と繰り返しになるんですけども、
1:19:49	炉心損傷した後に、大きくは、各領域隔離失敗がコイケの隔離に失敗して、放射性物質はフライから放出されるか、
1:20:02	もしくは隔離が成功したん、成功するけれども、
1:20:05	江藤真壁の冷却に失敗をして、過圧破損に至るかという大きなシナリオが二つございます。で、今回は、前回の参考1に記載しているような状態から、
1:20:17	新たに格納容器を冷却するための設備っていうのを、追加した状態で評価しておりますので、過圧破損については大きく、
1:20:28	頻度も割合も低下しております。
1:20:30	で、ただ
1:20:34	この下、学力の隔離失敗統括もある程度その取り合いの関係にありますので、
1:20:39	炉心損傷として進んできたシナリオのがどちらに進むかという、という意味でトライの関係にありますので、加圧破損が減った分確認確率の割合が、
1:20:49	割合的に増えるということが、起きているというふうに考えております。で、加えてもう一つ申し上げますと、参考1に載せておりますのは、
1:20:59	前回の届け出、お示した結果になっておりますので、それ以降今回の評価を実施するにあたって、先ほども述べましたような、
1:21:11	故障率であったりといった、新しく追加する設備以外の部分についても更新はしておりますので、そういった更新による影響も受けている点はあるかなというふうに考えております。
1:21:29	規制庁深田です。
1:21:31	えっとですね、ちょっと聞きたかったというか、理解できなかったところがありますねまず、炉心溶融炉心が損傷して、隔離失敗する場合と隔離成功する場合がありますよ。で、隔離失敗する場合、
1:21:45	ごめんなさい隔離が成功する方は客設備とかを追加したんで、
1:21:50	頻度確率下がりますよこれは納得ですと、
1:21:54	何だろうそのトライの関係でっていうのがちょっといまいちすっと来なくて、その隔離を失敗して放射性物質が出る方が上がる。
1:22:04	から、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:05	ていうところがちょっとよくわからない。で、
1:22:10	率としては下がっ。
1:22:12	出る、例えば、格納容器隔離失敗参考 1 のところでは内部事象のところ 1.4 の、
1:22:20	以上。
1:22:24	確率としてはこれ、
1:22:28	絶対値としてもこれ、
1:22:30	たりする。
1:22:33	絶対
1:22:38	ただ縦軸と横軸があって、寄与割合が上がっ。
1:22:50	だから白だったところが、
1:22:55	PIが全体の中に
1:23:06	今回に関しては、数値も上がっておりまして、参考人の時点では、
1:23:14	格付失敗の内部事象出力時の値は 1. オク 10 のマイナス 8 乗で、
1:23:19	今回、ページ 34 に記載をしております今回評価というのを、格納容器失敗の内部事象出力で 6.9 億円のマイナス 8 乗ということで頻度、
1:23:30	の頻度、頻度の観点でも折り合いの観点でも、今回上がっているという結果になっております。
1:23:41	規制庁福原ですけど。すみませんちょっと私、この辺が明るくなくて私だけかも理解ができてないのが私だけかもしれないんで、すみませんけど全交流電源喪失の方。
1:23:51	こちらをちょっと説明いただけますか全交流電源喪失の方も、
1:23:56	3.2一、あと、
1:23:58	これは、そうですね、6.6 上がってると思うので、
1:24:04	これはなぜ、なぜこういうことになって、
1:24:08	反省もすでに末と、こちらも
1:24:12	スズキが上がってルームものに関してはいろんな用意があるんですけども、一番大きいのは故障率を今回見直したというところがおっきいで
1:24:23	例えばこの全交流電源喪失でいうと、
1:24:27	電源がなくなって補助給水ポンプが必要になるんですけどもオノこの補助給水ポンプの故障率が今回見直してまして、数値として
1:24:40	侵犯故障率ではおっきな数字になっていることを反映して全体的に数値は上がっています。
1:24:47	数値が上がってるのはそれ以外にも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:52	モデルの高度化にOPこれまで考慮してなかったシナリオを考慮したり っていう、
1:24:58	ものもあるんですけども、一番大きいのはこの補償率が効いて、
1:25:02	その割合としてその色が白から緑になったりとかしてるのは
1:25:09	赤が前回あったのがなくなった分、全体的に
1:25:13	低かったやつが、
1:25:15	ちょっと上がって、
1:25:18	突出してたりリスクが下がった部分も全体的なリスクの割合が上がったっ ていうのも、アリマ
1:25:24	アノ規制庁フクダそこをすごく納得しました。
1:25:29	ちょっとすみません私、先ほど
1:25:34	格納容器隔離失敗の方はちょっと後で自分の方でも勉強しておきます んですいません。大丈夫です、ございます。
1:25:42	すみません規制庁のニシムラなんですけど今の点ですね、格納容器隔 離失敗のご説明はちょっとやっぱ当たらないと思う。
1:25:48	で、
1:25:49	何でかっていうとこれ
1:25:52	私が解説するのはあれなんだけど、CDF掛ける格納容器隔離失敗 の条件つき確率なわけじゃないですか。
1:26:00	なので、
1:26:02	条件付確率が上がるか、CDFが上がるか、しないと、この絶対値として の頻度が上がるはずがないんですよ。
1:26:11	で、
1:26:12	御説明は取り合いの問題だったことでした。
1:26:16	その取り合いの問題にするためには条件つき確率が上がるっていう、
1:26:22	そうすると、何でかって言ったらじゃあ隔離失敗のフォルトツリー関わっ てくるような固相率が変わってますってことかもしれない
1:26:30	或いは、
1:26:31	CDFもそもそも上がってるみたいなので、CDF自体は上がってるんで、 結果的に隔離失敗、その各失敗条件つき確率は変わってないだけ ど、
1:26:41	母数の方が変わってるから、評価結果変わりましたってことかもしれな い
1:26:45	なのでその辺もう1回分析された方がいいと思う。
1:26:50	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:28	衛藤規制庁フクハラですけども、ちょっと後日でいいんで、東京支社さん通して、メールか口頭かで結構
1:27:36	ちょっと整理をして、
1:27:38	フクハラまでご回答いただければと思います
1:27:54	はい。規制庁宮嶋です。
1:28:14	神戸さんの方から
1:28:34	違う。
1:28:35	ことについての、
1:28:38	根井。
1:28:40	よろしいです。
1:28:57	関西電力イマセです改めてですねご説明の方させて、
1:29:02	レベル1で炉心損傷
1:29:06	炉心損傷に至った
1:29:08	シナリオの流れとしては、格納容器の隔離に成功する、或いはですね失敗し、
1:29:14	いう二つ。
1:29:16	ここで格納容器失敗をしてしまいましたとなった場合は今 34 ページ書かせていただきますレベルツーの上から二つ目のこの、まさに格納容器
1:29:24	この、
1:29:25	CFO。
1:29:26	この数字に還付されるということになる。
1:29:29	ただですねここでうまく格納容器隔離を成功したと。
1:29:32	なった場合はですねCVの中から外から中に、
1:29:38	ただですね。
1:29:39	はい圧力、
1:29:43	ウノで、どんどん圧力
1:29:45	でその場合ですねやっぱり
1:29:48	この数字を
1:29:50	土壌被ばくによる過圧破損
1:29:53	この過圧破損というシナリオに至ってしまうと。
1:29:56	いうケースがございますので、とりあえずいいましたがこの一方通行的なお話の事でちょっと語弊の
1:30:08	成功した場合には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:19	今回高浜サング機数値が上がってましたのでそちらについてはしっかり分析の方はしてまして、モデルの高度化によるものと、の機器故障率の更新によるものオノこの二つが大きく、
1:30:36	数値としては上がっています。
1:30:38	モデルの高度化としましては、今回で言うと
1:30:48	キンジショウ大野を対象か、であったりだとか、起因事象の発生頻度評価データっていうのを見直したりしてまして。
1:30:58	こちらはそんなにの数値への影響はありません。
1:31:02	一方で機器故障率IIIについて今回
1:31:07	NRCで算出してます一般指針国の一般故障率に見直しましてこちらについて数値への影響が大きくCDFとして全体的に増加してます。これは内的地震津波共通で、
1:31:21	医師、数値は上がりました。
1:31:23	それを踏まえてレベル 1.5 がも同じように全体としては数値がまず上がってまして、
1:31:30	そのあと、割合としては特需、
1:31:35	学校かえとの効果によって過圧破損の割合が回廊から
1:31:40	白色に今回変わってまして、日その分、今まで白だったっていうやつものが相対的にリスクが高くなって緑になっている。
1:31:50	そういった状況です。はい。
1:31:52	規制庁深田です。理解できましたございます。
1:32:06	衛藤ミヤジマです。追加で何か、
1:32:10	事なければ、
1:32:17	はい、じゃあちょっと、
1:32:20	録音はこれで、はい。
1:32:23	1回ちょっと弊社の事業本部の方、
1:32:29	補足説明が
1:32:32	確認させてください。事業本部さん何かの説明、こっちの面客側できてないことと、
1:32:40	何か訂正とかもしあれば、お願いします。
1:32:49	関西電力の岩田です。補足説明はなしで大丈夫です。よろしく申し上げます。
1:32:56	了解しましたそしたら、通信を聞いてですね特重の両方も含む、面談の方にスイッチしたいと思います。
1:33:09	宮島さん。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:13	天田 菅
1:33:16	を終了させて、
1:33:23	ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。